

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.251

■ 2024 年度車両分解調査活動 「BMW CE 04 試乗会」 (会員限定)

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様が次世代自動車に搭載されている部品の試作製作ができるように、車両分解調査活動などを通して次世代自動車技術に関する情報提供を実施しています。

今年度は、会員企業の皆様に、次世代自動車部品の加工法や軽量化、振動、騒音、熱管理等のニーズ変化を捉え、次世代自動車に対応するための調査・研究の一環としてお役立ていただくため、中国製の最新EVの「BYD ATTO 3」と欧州製の最新二輪EVの「BMW CE 04」の分解調査を実施します。

今回は、会員企業の皆様に、今後、分解調査を実施する車両を理解していただくため、6月の展示説明会に引き続いて、「BMW CE 04」と比較のためエンジン二輪車を試乗していただき、「BMW CE 04」の走行状態、パワフル感、安全装置等の体験をしていただく「試乗会」を開催しました。

- 日 時 : 令和6年7月31日(水) 10時~16時30分
- 場 所 : ヤマハテクニカルセンター
- 参加者 : 27社/39名

< 注意事項・操作説明 >



< 走行試乗 >



【参加者の声】

- ・EVバイクのメカニズム、乗り心地が実感できた。
- ・EV車とエンジン車を比較して試乗ができ、参考になった。
- ・乗り心地、操作感などは実際運転してみないと分からない。
- ・小型EVと全然違う走りが体験できた。
- ・電動オートバイの試乗機会はめずらしく、良い機会だった。
- ・BEVの良い所のモータのトルク特性と、大きく出力を上げていくと負荷価値になると再認識できた。
- ・モータ出力と低重心で、重さのネガを上手く消している。
- ・電動バイクの強み弱み、パワーの強さを感じた。モータの出力をどこに重点をおいたら良いか、参考になった。
- ・実際に試乗することで、バイクの性能を体感することができた。
- ・資料など大変わかりやすく、CE04について理解した後に試乗ができ、とても参考になった。
- ・初のBEV車体験で、ICE車両との特性の違いをしっかりと感じる事ができた。求められる機能、性能を数値だけでなく、体感によって考えるための良いきっかけとなった。
- ・想像以上に乗っていて楽しかった。性能、安全面に対しての作り込みも大変と思うが、「バイク」としての楽しさもあることに驚いた。
- ・バイクのEVは、まだまだこれからの市場投入のため、乗り味や挙動、モニターとの接続など参考になった。
- ・EVバイクの現状の基準のようなものを認識することができた。
- ・バイクはエンジンでなければ楽しくないと思っていたが、試乗してライディングする楽しみは変わらないと感じた。
- ・重さ、トルク、発熱状態等、試乗しないとわからないことが良くわかった。
- ・モータでの走行は初めてだったので、走り出しのトルクにビックリした。
- ・EVとEGの特性の違いを感じられた。立ち上がりや発進にトルクのあるEVは車重を感じさせないようになっていた。
- ・CE04の方が加速・回生時の減速にメリハリがあった。
- ・CE04の加速のパワーがすごい。回生も充電している感があった。
- ・CE04は急加速を除き音が静かという印象、電動だがバイク感はエンジン車と変わらなかった。
- ・モードを変えたが、CE04は回生が強く、アクセルスロットルの使い方が非常にセンシティブであると感じた。
- ・トルクの出方、回生ブレーキの強さが、ICE車両と比べると非常にダイナミックに感じ取ることができた。
- ・CE04の加速感が今まで体験したことのないくらい印象的だった。乗っていて、楽しいと思えるバイクだった。
- ・電動(モータ)の力強さを感じた。また、重さはあったものの、走り出すとそこまで感じなかった。